

平成 25 年 2 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
 (コード 2388 大証 J A S D A Q 市場)
 問合せ先 執行役員 横山 幸弘
 (TEL 03 - 6225 - 2207)

平成 25 年 9 月期第 1 四半期決算における主要トピックスについて

当社は平成 25 年 2 月 14 日に第 1 四半期の決算発表をいたしました。主要なトピックスについて下記に解説させていただきます。株主及び投資家の皆様におかれましては引き続き当社グループの事業に関してご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

<総括> ファイナンス事業の成長が顕著、連結純利益が 330%超の伸張

(連結経営成績)

(単位：千円)

| | 2012 年 9 月期 第 1 四半期 | 2013 年 9 月期 第 1 四半期 | 対前年比増減 |
|-------|------------------------|------------------------|---------|
| 売上高 | 800, 947 | 988, 874 | 23. 5% |
| 営業利益 | 231, 774 | 221, 111 | -4. 6% |
| 経常利益 | 220, 186 | 227, 929 | 3. 5% |
| 当期純利益 | 11, 159 | 48, 354 | 333. 3% |

● 売上高

売上高においては、主にファイナンス事業において洪水の影響からの復興、営業拡大により新規契約数が急速に拡大し、月間新規契約数記録を連続で更新し続けるなど飛躍的な成長が続いております。このため、売上高は急速に拡大が続き 23.5%の増加となりました。

● 営業利益・経常利益

営業利益においては、ファイナンス事業の利益拡大が続いたもののコンテンツ事業において前年同期に過去最高であったロイヤリティ収入が本年においては相対的に低調であったことが影響し微減となりました。一方で経常利益は、円安の影響から外貨建て資産の為替差益が発生したこともあり 3.5%の増加となっています。

● 四半期純利益

四半期純利益については、333.3%増の大幅増となりました。前年同期は法人税率の変更にもない繰延税金資産の取り崩しが発生するなどの要因があったことから、当四半期ではファイナンス事業の好調を反映した増益となっています。

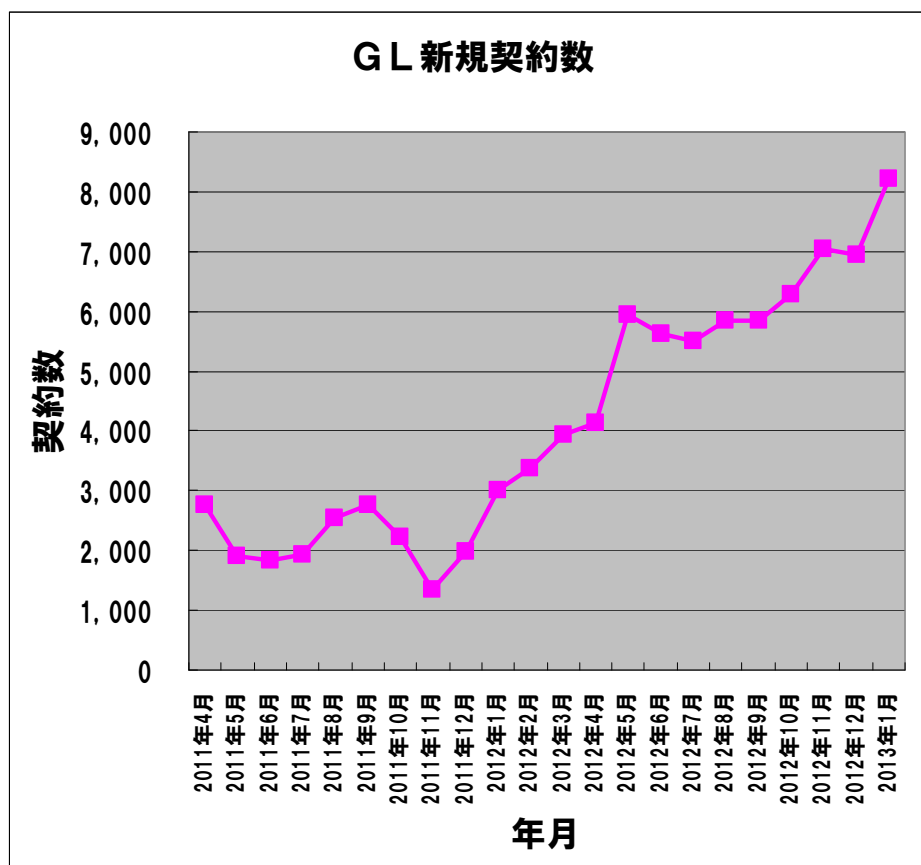
なお、売上高及び各利益項目全般に関して、前年同期と比較し円安が進行しておりますことから海外事業の収益は円建てで増加することとなりました。(当社グループにおける主要な海外事業通貨であるタイバーツに関しては平均為替レートが前年同期の1バーツ 2.47円から 2.70円と円安が進行し、海外での収益は円建てでは前年同期比で約9%増加する影響を受けております。)

<主な事業トピックス>

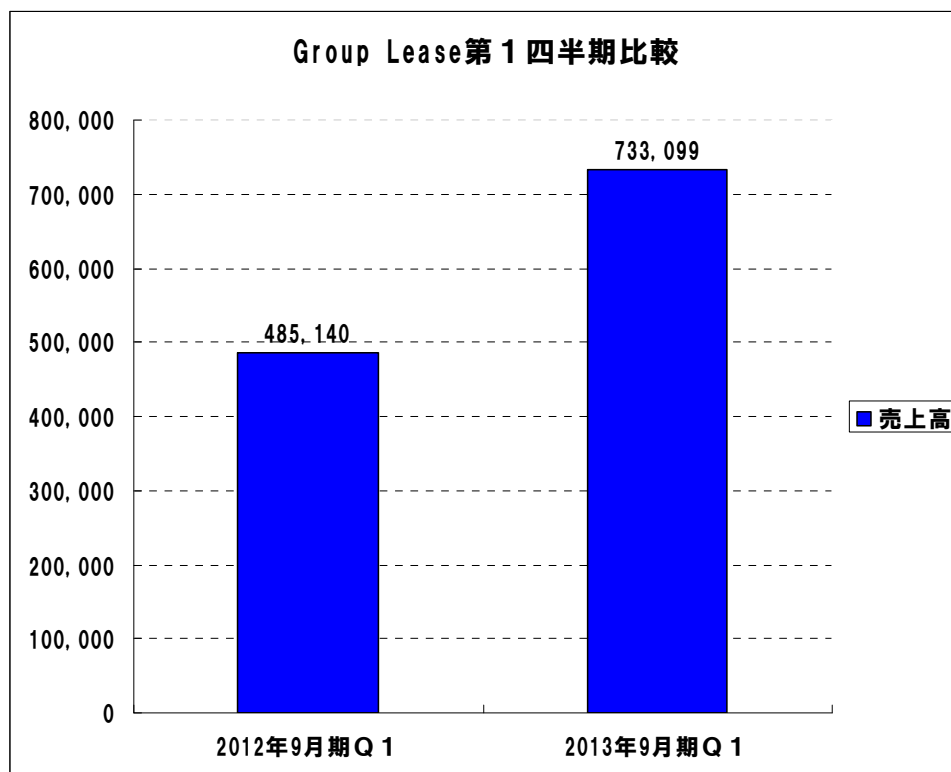
● ファイナンス事業： 大幅増収増益の大躍進

- 前年下半期以降から始まった新規契約増が続き、売上高が伸張、現地通貨建てで38.2%増、円安の影響も踏まえた円建てでは前年比51.1%増の飛躍的成長を果たしました
- 営業利益でも円建てで18.9%増、タイ国内とASEAN各国への事業拡大にむけて先行投資的費用増を吸収して大幅増益となりました
- タイ国内で新規契約拡大が続き、カンボジアをはじめとした営業地域拡大への取り組みも順調に推移しました。

<Group Lease PCL新規契約高推移>



<売上高前年同期比較グラフ>



- **コンテンツ事業は前年の反動で減益、第2四半期以降に拡大へ**
 - コンテンツ事業は前年同期にカードゲームのロイヤリティ収入が過去最高であったのに対し、当四半期は好調を維持したものの、前年に比べると比較的低調でありました。その影響で減収減益に留まっております。
 - 一方カードゲームを始めとした新規案件を積極的に開拓。取引先の開拓が順調にすすみ、新規開発にも着手して順調に推移しています。当四半期は先行投資的費用が発生しておりますが、第2四半期以降に新規案件の売上高計上を見込んでおります。

- **物販事業は黒字転換、経営方針に基づき第2四半期に事業譲渡を決定**
 - 事業環境に合わせて前年に大幅に固定費を削減、当四半期で黒字転換を達成しました
 - 前期に策定した経営計画に従い事業の選択と集中を決断。今後の事業支援に最適なパートナーと合意し、2月12日事業譲渡を決定しました。

● 通期業績予想と進捗状況について

- 通期および半期の業績予想に対しては順調に推移しております。
- 新規契約の拡大ペースが続いているファイナンス事業では、累積契約数の蓄積により下半期に大幅に売上高および収益性拡大が見込まれます。

(単位:千円)

| | 2013年9月期 第1四半期実績 | 通期業績予想 | 進捗率 |
|-------|---------------------|-----------|-------|
| 売上高 | 988,874 | 4,000,000 | 24.7% |
| 営業利益 | 221,111 | 1,250,000 | 17.7% |
| 経常利益 | 227,929 | 1,250,000 | 18.2% |
| 当期純利益 | 48,354 | 400,000 | 12.1% |

● 円安による海外収益への好影響について

- 当四半期は、海外事業の主要通貨であるタイバーツに対しても円安が進行、ファイナンス事業を中心とした海外の売上高は約9%拡大する影響を受けました。
- 平成25年9月期業績予想時点での想定タイバーツレートは1バーツ2.5円となっており平成25年2月13日現在では1バーツ3.14円と円安が進行しております。
- 1バーツあたり0.1円の円安となった場合、営業利益において約5千万円の増益効果が見込まれております。

以 上